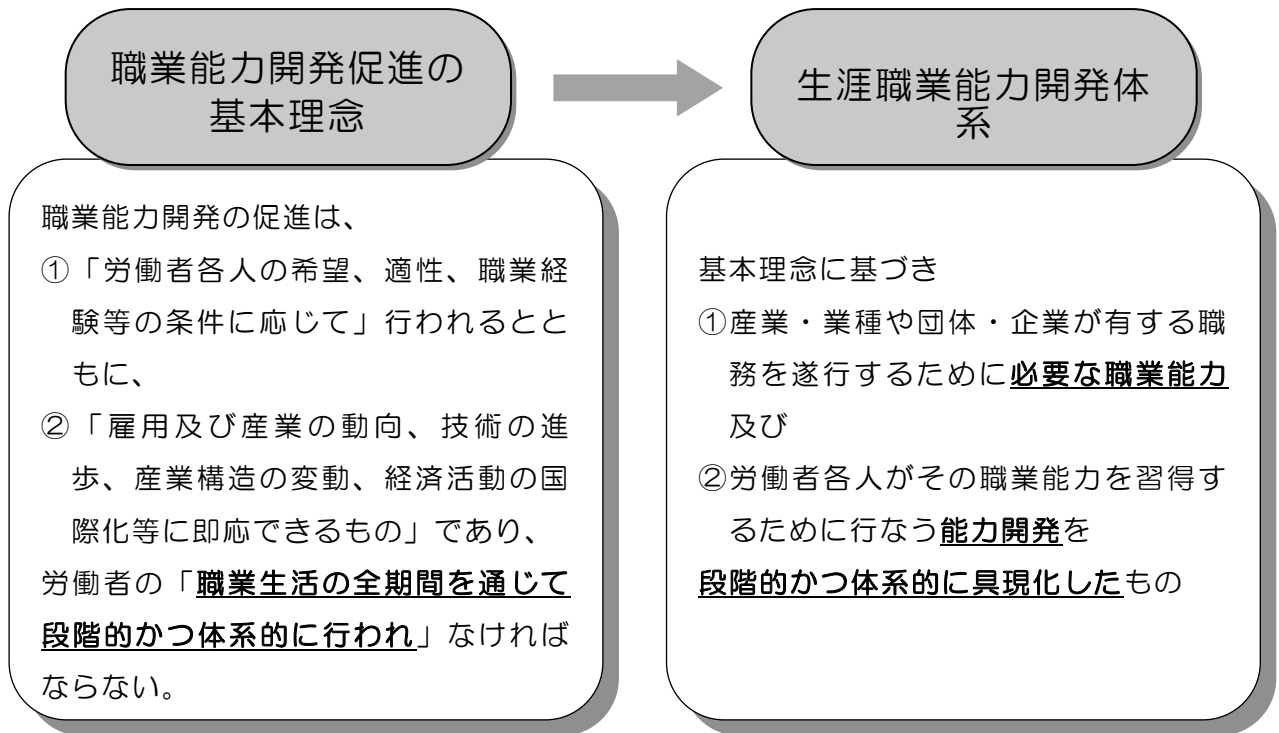


第4章

生涯職業能力開発体系について

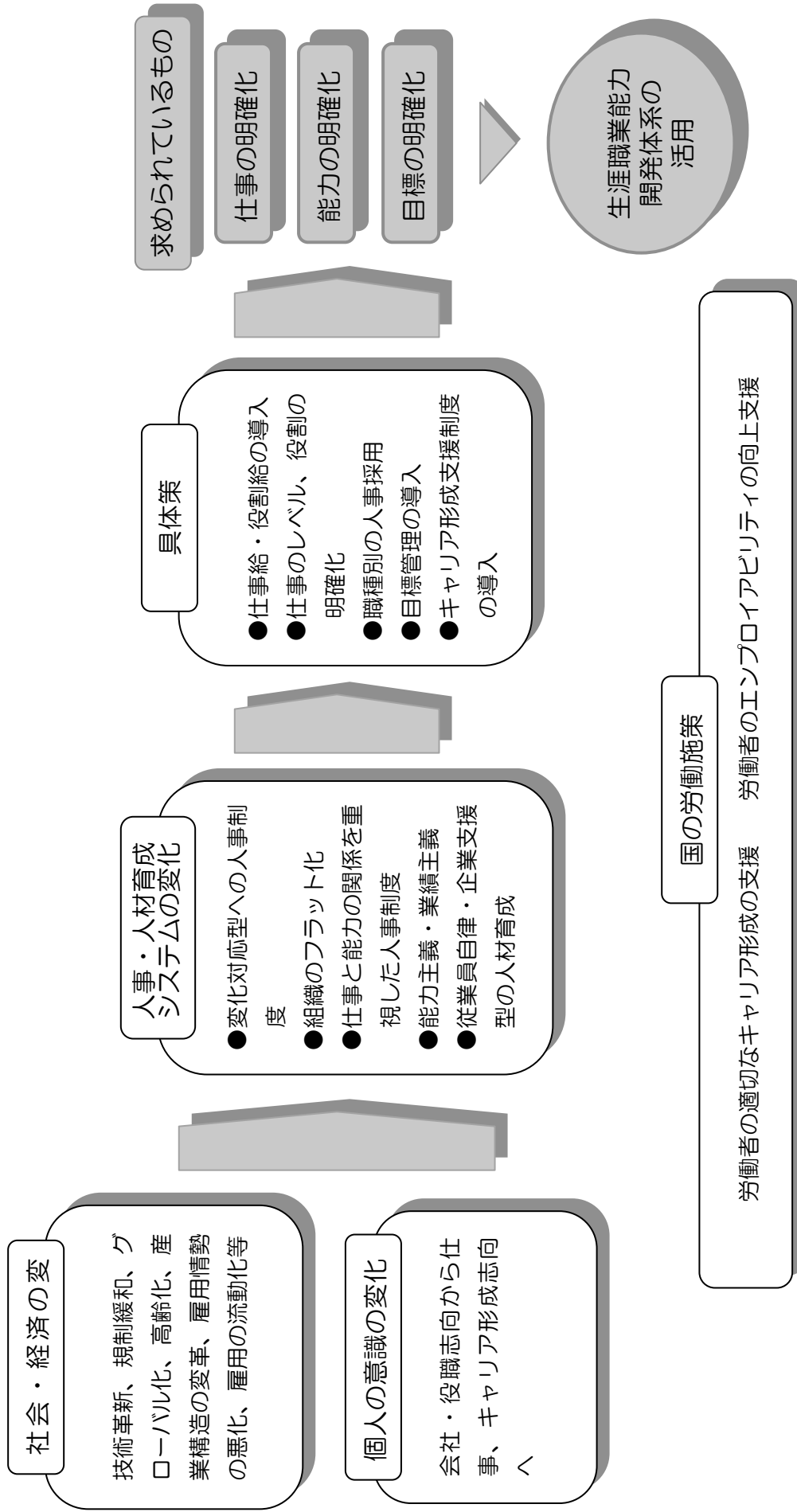
4-1 生涯職業能力開発体系とは



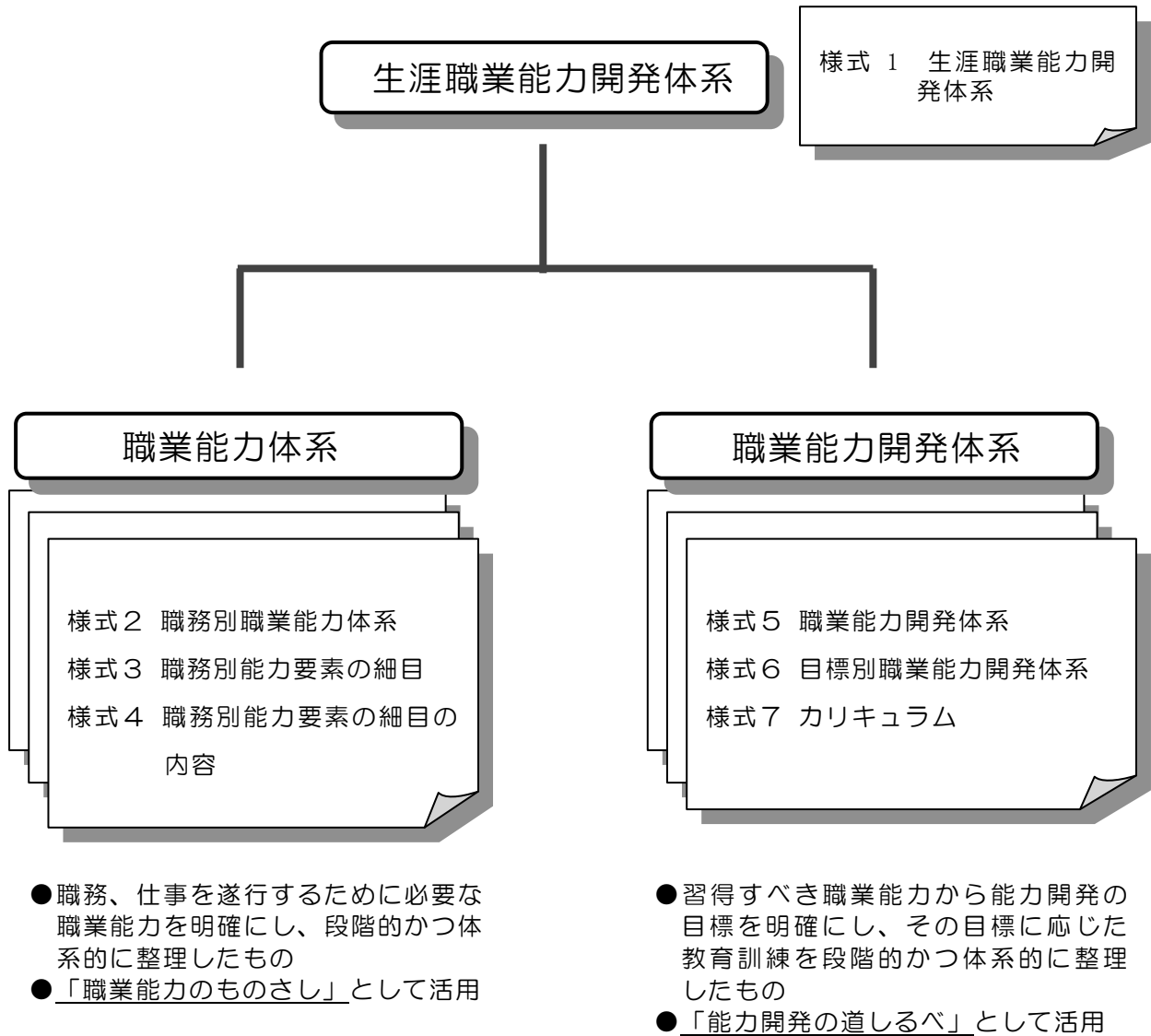
(1)生涯職業能力開発体系の特徴

- a. 団体・企業が有する、または必要とする職業能力（スキル）が明確になる。
- b. 従業員各人の現在のスキルが明確になり、従業員のスキルの確認、将来目標の設定が容易になる。
- c. 能力開発の成果がスキル向上により明らかになる。
- d. 段階的・体系的な人材育成ができる。
- e. 計画的・効果的な人材育成ができる。
- f. 人員配置や目標に合わせた効果的な人材育成ができる。

4-2 人材をめぐる環境変化と求められているもの



4-3 生涯職業能力開発体系の構成



(1) 様式1 (生涯職業能力開発体系)

職業能力体系と職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したもの。

機械工具製造業

生涯職業能力開発体系

様式1

活用区分		職業能力開発 (人材育成) の流れ				
標準化 共同化 実践化 目標化	職場における部門ごとの職務内容を調査	職業能力体系	職業能力開発ニーズの調査 経営方針及び企業戦略に基づくニーズ、経済・産業の動向に基づくニーズ 職業能力自己評価によるニーズ等	能力開発の目標設定及確認	職業能力開発体系の作成	
				訓練の実施 ・OJT ・Off-JT ・自己啓発 (SD)	職務遂行能力の向上 ・ソフト・スキル ・ハード・スキルの向上	
部門		L1	L2	L3	L4	
職業能力体系 経営 総務 総務 経営 総務 経営 総務 営業・販売 生産管理 品質管理 技術 設計 設備技術 製造 切断 溶接 切削加工 放電加工 熱処理 研削加工 表面処理 検査 梱包	【経営企画】 経営管理実務	【経営企画】 経営管理実務	【経営企画】 経営管理実務	【経営企画】 経営管理実務	【経営企画】 経営管理実務	
	【総務管理】 庶務	【総務管理】 庶務	【総務管理】 庶務	【総務管理】 庶務	【総務管理】 庶務	
	【法務管理】 特許出願維持管理 実用新案出願維持管理	【法務管理】 特許出願維持管理 実用新案出願維持管理	【法務管理】 特許出願維持管理 実用新案出願維持管理	【法務管理】 特許出願維持管理 実用新案出願維持管理	【法務管理】 特許出願維持管理 実用新案出願維持管理	【法務管理】 特許出願維持管理 実用新案出願維持管理
	【人事・労務管理】 人事手続き	【人事・労務管理】 人事手続き	【人事・労務管理】 人事手続き	【人事・労務管理】 人事手続き	【人事・労務管理】 人事手続き	【人事・労務管理】 人事手続き
	【安全・衛生管理】 機械、工具類の安全作業 感電・漏電及び火災の防止 化学物質の取り扱い作業	【安全・衛生管理】 作業環境の整備 機械装置の点検、修理 保護具の準備・確認 安全点検	【安全・衛生管理】 作業環境の整備 機械装置の点検、修理 保護具の準備・確認 安全点検	【安全・衛生管理】 作業環境の整備 機械装置の点検、修理 保護具の準備・確認 安全点検	【安全・衛生管理】 作業環境の整備 機械装置の点検、修理 保護具の準備・確認 安全点検	【安全・衛生管理】 作業環境の整備 機械装置の点検、修理 保護具の準備・確認 安全点検
	【財務・税務管理】 財務会計補助	【財務・税務管理】 財務諸表報告	【財務・税務管理】 財務諸表報告	【財務・税務管理】 財務諸表報告	【財務・税務管理】 財務諸表報告	【財務・税務管理】 財務諸表報告
	【管理会計】 原価計算補助	【管理会計】 原価管理	【管理会計】 原価管理	【管理会計】 原価管理	【管理会計】 原価管理	【管理会計】 原価管理
	【購買】 購買実務	【購買】 購買実務	【購買】 購買実務	【購買】 購買実務	【購買】 購買実務	【購買】 購買実務
	【工程管理】 生産計画作成	【工程管理】 生産計画作成	【工程管理】 生産計画作成	【工程管理】 生産計画作成	【工程管理】 生産計画作成	【工程管理】 生産計画作成
	【在庫管理】 在庫管理補助	【在庫管理】 在庫管理改善	【在庫管理】 在庫管理改善	【在庫管理】 在庫管理改善	【在庫管理】 在庫管理改善	【在庫管理】 在庫管理改善
	【品質管理】 測定機検査	【品質管理】 測定機検査	【品質管理】 測定機検査	【品質管理】 測定機検査	【品質管理】 測定機検査	【品質管理】 測定機検査
	【製品設計】 製図	【製品設計】 製図	【製品設計】 製図	【製品設計】 製図	【製品設計】 製図	【製品設計】 製図
	【開発設計】 材料調査	【開発設計】 材料調査	【開発設計】 材料調査	【開発設計】 材料調査	【開発設計】 材料調査	【開発設計】 材料調査
	【設備管理】 設備計画の補助	【設備管理】 設備計画の推進	【設備管理】 設備計画の推進	【設備管理】 設備計画の推進	【設備管理】 設備計画の推進	【設備管理】 設備計画の推進
	【材料出】 材料選択	【材料出】 材料選択	【材料出】 材料選択	【材料出】 材料選択	【材料出】 材料選択	【材料出】 材料選択
	【切断】	【切断】	【切断】	【切断】	【切断】	【切断】
	【溶接】 摩擦溶接 (圧接) 突き合わせ (フラッシュバット) 溶接	【溶接】 摩擦溶接 (圧接) 突き合わせ (フラッシュバット) 溶接	【溶接】 摩擦溶接 (圧接) 突き合わせ (フラッシュバット) 溶接	【溶接】 摩擦溶接 (圧接) 突き合わせ (フラッシュバット) 溶接	【溶接】 摩擦溶接 (圧接) 突き合わせ (フラッシュバット) 溶接	【溶接】 摩擦溶接 (圧接) 突き合わせ (フラッシュバット) 溶接
	【旋盤加工】 外径加工 内径加工	【旋盤加工】 外径加工 内径加工	【旋盤加工】 外径加工 内径加工	【旋盤加工】 外径加工 内径加工	【旋盤加工】 外径加工 内径加工	【旋盤加工】 外径加工 内径加工
	【フライス加工】 平面・側面加工 溝加工	【フライス加工】 平面・側面加工 溝加工	【フライス加工】 平面・側面加工 溝加工	【フライス加工】 平面・側面加工 溝加工	【フライス加工】 平面・側面加工 溝加工	【フライス加工】 平面・側面加工 溝加工
	【マシニングセンタ加工】 マシニングセンタ加工	【マシニングセンタ加工】 マシニングセンタ加工	【マシニングセンタ加工】 マシニングセンタ加工	【マシニングセンタ加工】 マシニングセンタ加工	【マシニングセンタ加工】 マシニングセンタ加工	【マシニングセンタ加工】 マシニングセンタ加工
【放電加工】 放電加工	【放電加工】 放電加工	【放電加工】 放電加工	【放電加工】 放電加工	【放電加工】 放電加工	【放電加工】 放電加工	
【熱処理】 高周波熱処理 真空熱処理 浸炭窒化	【熱処理】 高周波熱処理 真空熱処理 浸炭窒化	【熱処理】 高周波熱処理 真空熱処理 浸炭窒化	【熱処理】 高周波熱処理 真空熱処理 浸炭窒化	【熱処理】 高周波熱処理 真空熱処理 浸炭窒化	【熱処理】 高周波熱処理 真空熱処理 浸炭窒化	
【平面研削加工】 N C平面研削加工	【平面研削加工】 N C平面研削加工	【平面研削加工】 N C平面研削加工	【平面研削加工】 N C平面研削加工	【平面研削加工】 N C平面研削加工	【平面研削加工】 N C平面研削加工	
【円筒研削加工】 N C円筒研削加工	【円筒研削加工】 N C円筒研削加工	【円筒研削加工】 N C円筒研削加工	【円筒研削加工】 N C円筒研削加工	【円筒研削加工】 N C円筒研削加工	【円筒研削加工】 N C円筒研削加工	
【内面研削加工】 N C内面研削加工	【内面研削加工】 N C内面研削加工	【内面研削加工】 N C内面研削加工	【内面研削加工】 N C内面研削加工	【内面研削加工】 N C内面研削加工	【内面研削加工】 N C内面研削加工	
【成形研削加工】 N C成形研削加工	【成形研削加工】 N C成形研削加工	【成形研削加工】 N C成形研削加工	【成形研削加工】 N C成形研削加工	【成形研削加工】 N C成形研削加工	【成形研削加工】 N C成形研削加工	
【表示】 表示	【表示】 表示	【表示】 表示	【表示】 表示	【表示】 表示	【表示】 表示	
【窒化・酸化処理】 窒化処理 酸化処理	【窒化・酸化処理】 窒化処理 酸化処理	【窒化・酸化処理】 窒化処理 酸化処理	【窒化・酸化処理】 窒化処理 酸化処理	【窒化・酸化処理】 窒化処理 酸化処理	【窒化・酸化処理】 窒化処理 酸化処理	
【バフ研磨】	【バフ研磨】	【バフ研磨】	【バフ研磨】	【バフ研磨】	【バフ研磨】	
【梱包】 防錆処理 検査	【梱包】 防錆処理 検査	【梱包】 防錆処理 検査	【梱包】 防錆処理 検査	【梱包】 防錆処理 検査	【梱包】 防錆処理 検査	
【製品検査】 外観・寸法検査 三次元測定	【製品検査】 外観・寸法検査 三次元測定	【製品検査】 外観・寸法検査 三次元測定	【製品検査】 外観・寸法検査 三次元測定	【製品検査】 外観・寸法検査 三次元測定	【製品検査】 外観・寸法検査 三次元測定	
能力開発区分	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・総合		
職能別	職業能力体系の各部門の能力要素が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式5以下で示す。					
階層別	従業員層、管理者層、経営者層のそれぞれの階層に求められる次のような職業能力が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式5以下で示す。 (従業員層) 新入社員、中堅社員、主任・監督者等の区分に応じて有すべき、勤労意欲の啓発、積極性・協調性の涵養、自主性の涵養、リーダーシップの養成、問題点の把握解決手法等の職業能力が目標である。 (管理者層) 管理者としての役割認識、意思決定や問題解決能力の養成、部下の育成等の職業能力が目標である。 (経営者層) 経営者としての経営方針策定、経営判断、経済・産業動向の把握分析等の職業能力が目標である。					
課題別	企業戦略、経済・産業の動向等にマッチした課題が能力開発の目標であり、この目標達成に向けた訓練名称を様式5以下で示す。					

(2) 様式2(職務別職業能力体系)

能力要素（仕事を遂行する能力）を段階的・体系的に示したもの。職務ごとの仕事が明確にできる。

機械工具製造業

職業別職業能力体系

様式2

部門	レベル	L1	L2	L3	L4
製造 切断	材料出庫	材料選択			
		材料搬出			
	切断	機械切断			
製造 研削加工	平面研削加工	NC平面研削加工	平面研削加工	角度研削加工	
				衛生管理推進 労働安全衛生及び環境 管理関係法令の遵守	
	円筒研削加工	NC円筒研削加工	円筒研削加工	テーパ研削加工	
	内面研削加工	NC内面研削加工	内面研削加工	テーパ研削加工	
				衛生管理推進 労働安全衛生及び環境 管理関係法令の遵守	
	ねじ研削加工		ねじ研削加工		
	成形研削加工	NC成形研削加工	R成形研削加工	溝・深溝研削	
複合研削加工	NC複合研削加工				
	表示	表示			
製造 梱包	梱包	防錆処理			
		包装・梱包			
		検査			

能力要素
(仕事)

(3) 様式3(職務別能力要素の細目)

能力要素とそれを構成する能力要素の細目(作業を遂行する能力)を示したものの。仕事を構成する作業が明確にできる。

機械工具製造業

職業別能力要素の細目

様式3

部門	レベル 職務	L1	L2	L3	L4
製造 研削加工	平面研削加工	NC平面研削加工 加工準備 ツールセット プログラムチェック・修正 加工 測定	平面研削加工 加工準備 平面研削加工 測定	角度研削加工 加工準備 角度研削加工 測定	
	ねじ研削加工	能力要素 (仕事)	ねじ研削加工 加工準備 ねじ研削加工 測定		

能力要素の細目
(作業)

能力要素
(仕事)

(4)様式4(職務別能力要素の細目の内容)

能力要素の細目を構成する知識及び技能・技術の内容を示したもの。作業を行うために必要な能力が知識及び技能・技術により確認できる。

機械工具製造業 職業別能力要素の細目の内容 様式4

職 務	ねじ研削加工	レベル表示	L 2
能力要素	ねじ研削加工		
能力要素の細目	能力要素の細目の内容		
1. 加工準備	知識	1. ねじ研削盤各部の名称と機能を知っている 2. 安全作業を知っている	
	技能 技術	1. 段取りの方法を決定し、実施できる 2. 加工物に合わせた砥（と）石の選択ができる 3. 砥（と）石の保管管理ができる 4. 砥（と）石の交換、バランスどりができる（免許を持っている） 5. 研削条件の設定ができる 6. 加工するにあたり、品質上問題のない段取りができる 7. 図面で要求されている加工面の見極めができる 8. 表面粗さ測定機による測定ができる	
2. ねじ研削加工	技能 技術	1. ねじ研削盤の操作ができる 2. ねじ研削加工ができる	
3. 測定	知識	1. 許容差を知っている	
	技能 技術	1. ノギスによる測定ができる 2. マイクロメータによる測定ができる 3. ダイアルゲージによる測定ができる 4. 三針による測定ができる 5. 許容差を知っている	

(5) 様式5(職業能力開発体系)

職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したものの。職能別、階層別、課題別に訓練名称を段階的・体系的に示している。(本調査研究では作成に至っていない。)

職業能力開発体系						能力開発のレベル 4段階で表示	様式5		
〇〇製造業									
区分	部門	職務	専門領域	専門	高度専門	高度複合・統合			
職能別	経営	経営企画		企画書作成	企画・発想力開発	経営戦略			
	総務	総務業務	OA操作・文書作成 一般総務業務	文書・資料作成管理実務		企画立案			
				法務・渉外実務	法務・渉外管理				
	人事・労務管理	人事・労務の基礎	人事・労務の基礎	人事・給与・社会					
				労務企画管理					
				能力開発実務					
	経理	財務・税務会計	経理の基礎	財務会計実務	財務会計	訓練名称をレベル 区分に応じて配列			
				税務会計実務					
				原価計算実務					
	営業	営業企画管理	営業販売基礎技術	マーケティング実務		営業・マーケティング戦略			
営業活動				営業技術	販売管理	マーケティング			
生産管理	工程管理	生産管理基礎	生産計画		生産システム設計				
			工程管理						
設備管理									
品質管理	品質管理								
製造 組立	部品実装組立	機械部品組立基礎 電装部品組立基礎				新素材加工の動向 最先端切削加工技術			
			製造	旋盤加工	機械図面の見方			旋盤(3)	旋盤エキスパート
					旋盤(1)			旋盤応用(1)	
					旋盤(2)			旋盤応用(2)	
技術 電装設計	実装設計		フライス盤加工	フライス盤基礎	フライス盤応用	難削材切削加工技術			

区分	階層(訓練対象者)	専門領域	専門	高度	高度複合・統合		
階層別	新入社員	新規採用	会社概要	仕事の進め方	訓練名称をレベル 区分に応じて配列		
			マナー基本	ビジネスマナー			
	中堅社員	総合職	会社概要	仕事の進め方			
				0JTの基本と実践	マネジメント基礎		
技術職		問題解決手法	リーダーシップ	コミュニケーション	部下の指導		
管理・監督者			0JTの基本と実践	マネジメント基礎			
経営幹部				リーダーシップ	部下の指導	人の扱い方	
					標準管理実践	戦略発想	

区分	課題	専門領域	専門	高度専門	高度複合・統合		
課題例	IT化推進	情報リテラシー	OA研修	インターネット利用技術	訓練名称をレベル 区分に応じて配列		
			パソコン利用技術				
	営業力強化	顧客折衝力強化	ディベート術	電子商取引技術	提案型営業		
				プレゼンテーション技術	コンサルティング営業		
国際化	国際対応力	英会話初級	顧客情報管理強化	顧客管理技術(CRM)	ナレッジマネジメント		

(6) 様式6(目標別職業能力開発体系)

職能別、階層別、課題別に、能力開発目標ごとの訓練名称を示したもの。能力開発の目標とそれに対応した訓練名称が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない。)

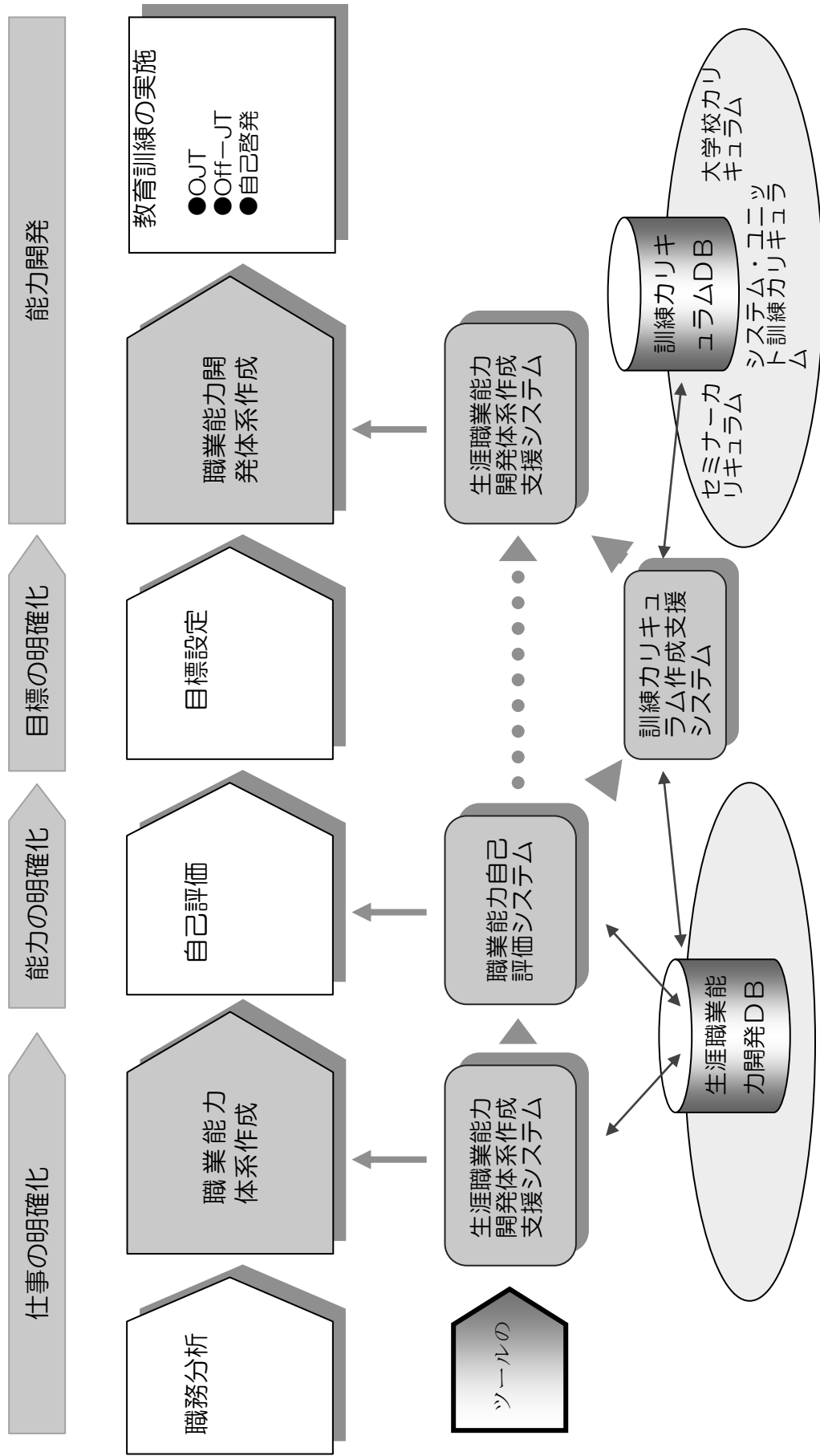
○○製造業		目標別職業能力開発体系			様式6 (職能別)	
部門 職務	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合	
製造 旋盤加工	* 外形加工 旋盤による高精度加工を習得する。	図面の見方 旋盤(1)	旋盤(2) 旋盤(3) 旋盤(4) 旋盤(4)	旋盤応用(1) 精密切削加工 旋盤のエキスパート	先端切削技	新素材加工
能力要素により設定				訓練名称		
能力要素に関する具体的な目標を設定						
階層(訓練対象者)	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合	
中堅社員	中堅の役割としての部下の育成及びリーダーシップ等をはじめとする統率力を身につける。 技術食に必要な...に対する部下びリーダーシップとする指導つける。		OJTの基本と実践 コミュニケーション 問題解決手法 OJTの基本と実践	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導 マネジメント基礎 リーダーシップ		
階層に求められる具体的な職業能力により設定				訓練名称		
課題	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合	
IT化推進	全社的な情報化を推進するために必要な情報リテラシーの向上。 インターネット上における	OA研修 パソコン利用技術	インターネット利用技術	電子商取引技術		
具体的な課題により設定				訓練名称		
営業力強化	顧客情報管理強化	ディベート術	プレゼンテーション技術	提案型営業 コンサルティング営業		ナレッジマネジメント
国際化	国際対応力の強化	英会話初級	ビジネス英語	顧客管理技術(CRM)		

(7)様式7(カリキュラム)

訓練名称のカリキュラムを示したもの。訓練を実施するための具体的な内容が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない。)

区分		作成者又は 実施機関名	ポリテクセンター〇〇 (tel : xxx-xxx-xxxx)	管理番号	S401-107-4
E		カリキュラム			
訓練名称		営業・マーケティング戦略			
訓練対象者		営業部門管理職、営業リーダー			
訓練目標		マーケティングの理論と営業メンバーの行動管理の方法を習得し、戦略的な営業活動を立案できる人材を育成する。特に顧客リーダーの変化や顧客の経営課題に対応した提案技法を習得する。			
細目		内 容			訓練時間(h)
1. 企業経営と経営戦略		(1)経営ビジョンの考え方 (2)環境分析 (3)経営戦略			3.0
2. マーケティングの枠組み		(1)マーケティングの意義と役割 (2)マーケティング戦略の考え方 (3)マーケティング情報の収集と探索			1.5
3. マーケティング戦略の展開の考え方		(1)市場戦略 (2)商品(サービス)戦略 (3)価格戦略 (4)販売促進戦略			2.5
4. 顧客への提案書づくりの考え方と進め方		(1)顧客の問題点の発見方法 (2)課題の解決方法 (3)提案作業と提案作成			5.0
5. 営業組織とシステム開発組織のあり方		(1)市場対応型営業組織の考え方 (2)システム開発組織のあり方			3.0
6. 営業メンバー行動管理		(1)SFAの考え方と進め方 (2)効率的な営業活動指針 (3)営業活動管理の考え方 (4)営業計画の策定			3.0
		訓練時間合計			18.0
使用機器・教材等		テキスト、資料、OHP、事例シート、チェックシート			

4-4 生涯職業能力開発体系を活用した人材育成の流れ

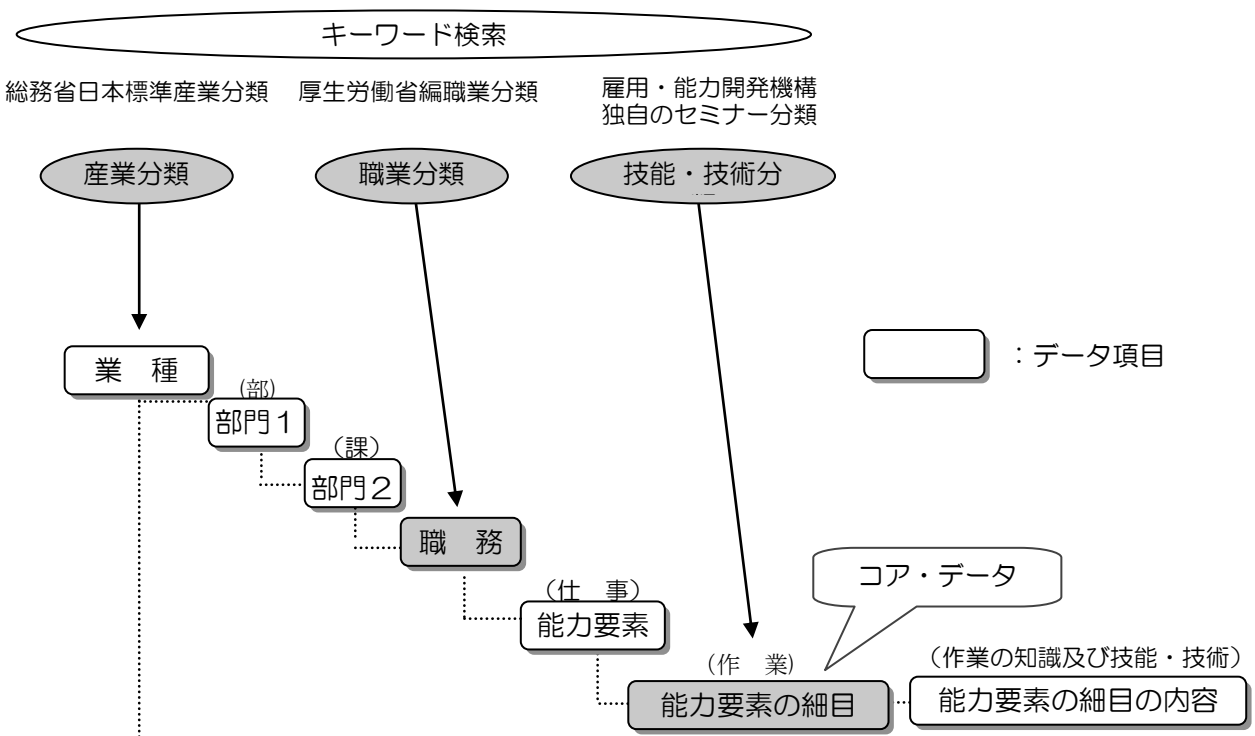


4-5 生涯職業能力開発体系のデータ構造

生涯職業能力開発体系の拡充と普及を促進するため、データの構造化に当たっては、名称に一定の基準が必要となるため、「業種名」では、原則日本標準産業分類の小分類もしくは細分類を採用することとしている。

また、「職務名」については、厚生労働省編職業分類を基本としているが、中央団体及び専門委員との協議の上選定することとしている。

生涯職業能力開発体系(職業能力体系)のデータ構造



(例)

電気機械器具製造業	製造	加工	旋盤加工	外径加工	加工準備	旋盤各部の名称を知っている 機械図面の読方を知っている 各部の注油と点検ができる 加工工程を組むことができる
	総務	庶務	庶務管理	庶務・渉外実務(補助)	文書作成	社内文書と社外文書の種類、用途を知っている 書式通りに文書を作成できる 簡単な帳票類を作成ができる

